
レイヤー2 インテリジェント・スイッチ用拡張モジュール

AT-A50/AT-A51/AT-A53

インストールレーションガイド

安全のために

必ずお守りください

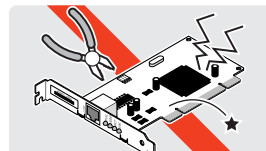


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物、水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水がかかったり、異物が触れないように注意してください。万一水がかかったり、異物が触れた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

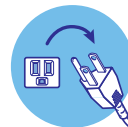
内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差したままでは、コンピューターに電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



シンナー
類不可

ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2003年 10月 Rev.A 初版

はじめに

このたびは、AT-A50、AT-A51、AT-A53をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ます。

本製品は、弊社レイヤー2 インテリジェント・スイッチの拡張モジュール用スロットに装着して、アップリンクポートとして使用するための拡張モジュールです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本製品を装着する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。

各モジュールのメディアとポート構成は以下のとおりです。

AT-A50	100BASE-TX/1000BASE-T ポート× 1
AT-A51	1000BASE-SX/SC ポート× 1
AT-A53	1000BASE-LX/SC ポート× 1

目次

安全のために	2
はじめに	5
1 お使いになる前に	6
梱包内容	6
対応機種	6
拡張モジュールスロット	6
2 外観とLED表示	7
AT-A50	7
AT-A51・AT-A53	8
3 取り付けかた	9
4 ケーブル	11
5 仕様	12
インターフェース仕様	12
製品仕様	13

1 お使いになる前に

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

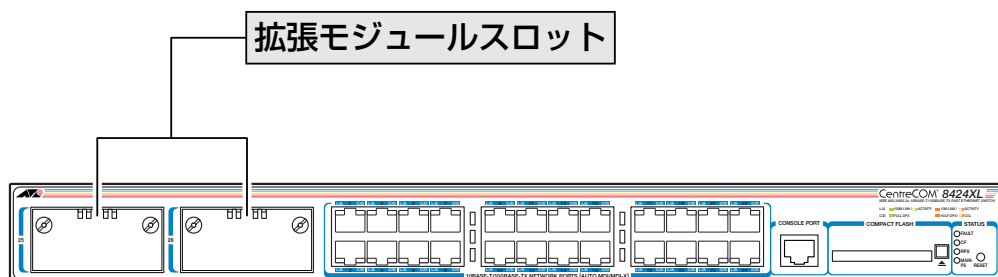
- 拡張モジュール本体 1台
- 製品保証書 1枚
- シリアル番号シール 2枚
- インストレーションガイド(本書) 1部

対応機種

本製品は、CentreCOM 8424XL 用の拡張モジュールです。対応機種が追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。本製品を装着するスイッチ本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

拡張モジュールスロット

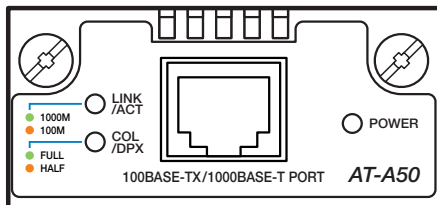


本製品を装着するスロットです(上図は CentreCOM 8424XL)。
標準装備では、カバーパネルが取り付けられています。カバーパネルは、本製品を装着するとき以外ははずさないようにしてください。

2 外観とLED表示

AT-A50

AT-A50は100BASE-TX/1000BASE-Tポートを1ポート装備しています。



AT-A50

100BASE-TX/1000BASE-Tポート×1

LED表示

LED	色	状態	表示内容
POWER	緑	点灯	本製品に電源が供給されています。
		点滅	本製品が初期化されています。
	—	消灯	本製品に電源が供給されていません。
LINK /ACT	緑	点灯	1000Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	1000Mbpsでパケットを送受信しています。
	橙	点灯	100Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	100Mbpsでパケットを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立されていません。
COL /DPX	緑	点灯	Full duplexでリンクが確立しています。
	橙	点灯	Half duplexでリンクが確立しています。
		点滅	コリジョンが発生しています。
	—	消灯	リンクが確立されていません。

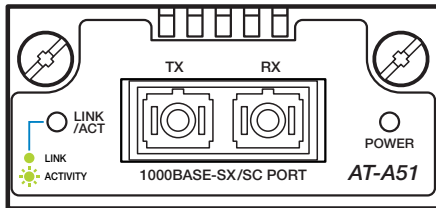


CentreCOM 8424XL搭載時は、100Mbpsでの通信はサポートしていません。サポートする通信モードはスイッチ本体によって異なります。スイッチ本体に添付されているマニュアルをご確認ください。

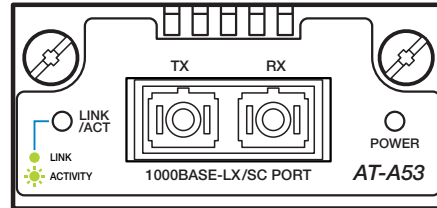
2 外観とLED表示

AT-A51・AT-A53

AT-A51は1000BASE-SX/SCポート、AT-A53は1000BASE-LX/SCポートを1ポート装備しています。



AT-A51
1000BASE-SX/SCポート×1



AT-A53
1000BASE-LX/SCポート×1

LED表示

LED	色	状態	表示内容
POWER	緑	点灯	本製品に電源が供給されています。
		点滅	本製品が初期化されています。
	—	消灯	本製品に電源が供給されていません。
LINK /ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
		点滅	パケットを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立されていません。

3 取り付けかた

⚠ 拡張モジュールの取り付け/取りはずし作業は、必ず、電源ケーブルを抜いて、スイッチ本体の電源を切ってから行ってください。感電の恐れがあります。

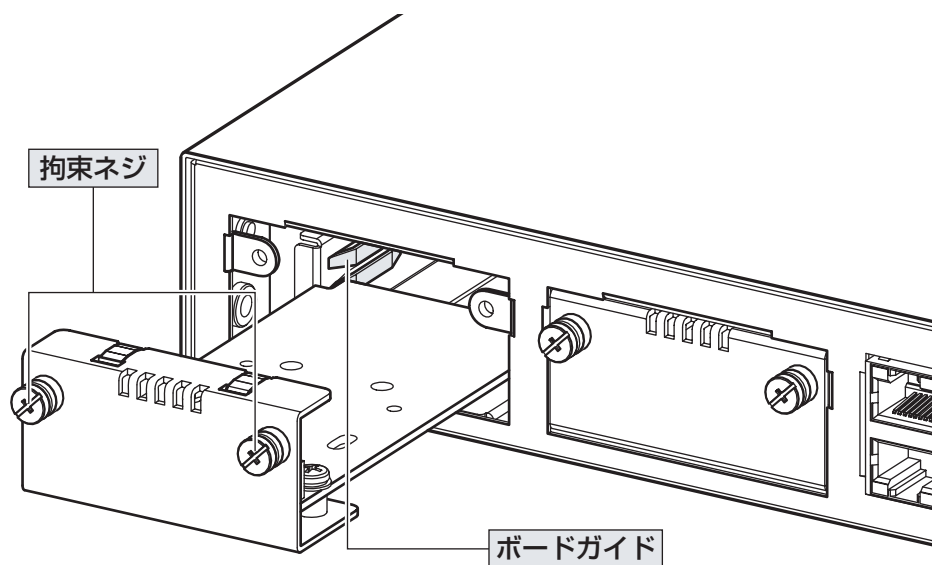
! 拡張モジュールは、静電気に非常に敏感な部品を使用しています。静電気によって、電子部品が損傷する恐れがありますので、取り扱いの際は、アースストラップを使用するなどの静電防止対策をして、ボード部分にはできるだけ手を触れないようにしてください。
また、保管するときは、拡張モジュールが梱包されていた静電防止袋に入れて、静電気のある場所を避けてください。

1 電源ケーブルを抜いて、スイッチ本体の電源を切ります。

2 スイッチ本体前面にある拡張モジュールスロットのカバーパネルのネジをドライバーでゆるめて、カバーパネルをはずします。

3 拡張モジュールのボード部分を、スロットのボードガイドにそって差し込みます。

! ボード部分には手を触れず、拡張モジュールの前面パネルを持って作業してください。差し込むときに、ボード部分をスロットのネジ穴などに当てないように注意してください。



3 取り付けかた

- 4 拡張モジュールの前面パネルがスイッチ本体の前面パネルとそろっ位置まで、拡張モジュールを押し込みます。
- 5 拡張モジュールの拘束ネジをドライバーでしめます。
- 6 以上で、拡張モジュールの取り付けが完了しました。電源ケーブルを接続して、スイッチ本体の電源を入れます。

拡張モジュールを取りはずす場合は、拘束ネジをドライバーでゆるめ、拘束ネジを持ってゆっくりと引き抜きます。



光ポートには、ほこりなどからコネクターを保護するダストカバーが付いています。光ファイバーケーブルを接続していないときは、コネクターにダストカバーを付けておいてください。

4 ケーブル

使用するケーブル、伝送距離は次の表を参照してください。

ポート	使用ケーブル		伝送距離
100BASE-TX/ 1000BASE-T (AT-A50)	100BASE-TX*1	UTPカテゴリ-5*2以上	100m
	1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリ-5	
1000BASE-SX/SC (AT-A51)	50/125 μm マルチモードファイバー		550m (伝送帯域 500MHz・km時)
	62.5/125 μm マルチモードファイバー		275m (伝送帯域 200MHz・km時)
1000BASE-LX/SC (AT-A53)	9.5 (10) /125 μm シングルモードファイバー		5000m
	50/125 μm マルチモードファイバー*3 62.5/125 μm マルチモードファイバー*3		550m (伝送帯域500MHz・km時)

※ 1 CentreCOM 8424XL 搭載時は、100Mbps での通信はサポートしていません。

※ 2 弊社販売品のシールド付カテゴリ-5 (ストレート) ケーブルにも対応しています。

※ 3 コネクタと光ファイバーケーブルの間にモード・コンディショニング・パッチコードを使用してください。

100BASE-TX/1000BASE-T ポート

接続先のポートの種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。

1000BASE-SX/SC・1000BASE-LX/SC ポート

光ファイバーケーブルは2本で1対になっています。本製品のTXを接続先の機器のRXに、本製品のRXを接続先の機器のTXに接続してください。

5 仕様

インターフェース仕様

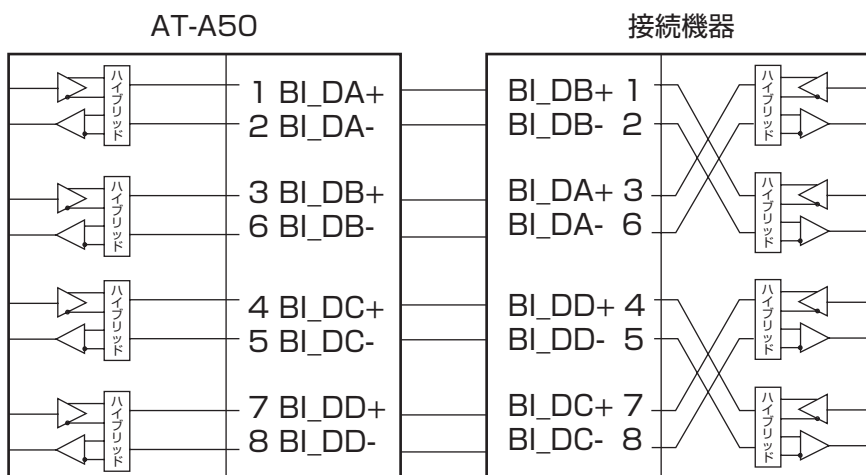
100BASE-TX/1000BASE-T インターフェース(AT-A50)

RJ-45 型のモジュージャックを使用しています。



コンタクト	MDI	MDI-X
1	BI_DA+	BI_DB+
2	BI_DA-	BI_DB-
3	BI_DB+	BI_DA+
4	BI_DC+	BI_DD+
5	BI_DC-	BI_DD-
6	BI_DB-	BI_DA-
7	BI_DD+	BI_DC+
8	BI_DD-	BI_DC-

ケーブルの結線は下図のとおりです。



1000BASE-SX/SC・1000BASE-LX/SC インターフェース(AT-A51・AT-A53)

2 連 SC コネクタを使用しています。

	1000BASE-SX	1000BASE-LX
中心波長	850nm	1310nm
送信光レベル	-9.5 ~ 0dBm	-11 ~ -3dBm
受信光レベル	-17 ~ 0dBm	-19 ~ -3dBm
許容損失*	7.5dB	8dB

※ 同一製品を対向で使用した場合です。

製品仕様

準拠規格	
AT-A50	IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T
AT-A51	IEEE802.3z 1000BASE-SX
AT-A53	IEEE802.3z 1000BASE-LX
通信モード	
	オートネゴシエーション
平均消費電力	
AT-A50	2.8W (最大3.1W)
AT-A51	1.2W (最大1.3W)
AT-A53	1.2W (最大1.3W)
平均発熱量	
AT-A50	10.1kJ/h (最大11.2kJ/h)
AT-A51	4.3kJ/h (最大4.7kJ/h)
AT-A53	4.3kJ/h (最大4.7kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0~55℃
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20~65℃
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	57 (W) × 101 (D) × 27 (H) mm
質量	
	70g

